

《 第39回高高神田会のご案内 》

新年(旧暦 1 月 10 日)に
「株を守りて兎ならぬ餠ころ丸餅白味噌雑煮をゲット」し、
高松の女将さんを励ますと共に お互いに新年を寿ぐ会

今年の正月は全国的に寒波到来で大荒れであったようですが、関東地方だけ天気もよく神田会会員の皆様におかれましては恙なく穏やかな新年を迎えられたと思います。

この会も 2002 年 2 月 16 日に第一回目の会が始まってはや 10 回目を数えることとなります。まさに『烏兎忽忽』、年月の流れは速いものです。

この会にでなければ新年になった気がしないという方も多いかと思えます。今年も来る 2 月 12 日(旧暦では 1 月 10 日)にいつものように渋谷「讃岐うどん高松」にて開催いたします。

今年はウサギ年ですが、十干十二支では辛卯(かのどのう、音読みでは「シンボウ」)だそうです。

「辛」は辛い(つらい・からい)という読みや辛苦・辛勝・辛労・辛辣・辛酸・艱難辛苦というような「つらい」・「きびしい」イメージがありますが、もともとは鋭い金属の刃物をあらわす象形文字ということで、「解体する」、「腑分けする」、「切り開く」という意があり、また「辛」は「新」に通じ「ことの始まり」「変化改革」という意味もあるようです。

また、「卯(音読みでボウ)」は扉をむりやり押し開けるサマのこれまた象形文字にて、「冒す(おかす=敢えてする)」に通じ「新しいことに取り組み、切り開いていく」様子、また「冒う(おおう=表面を被う)」に通じ「植物が芽を出し大地を覆っていく」意味もあるとのことで、徐々に運氣・精気が上昇していく時期でもある由。(そういうことで卯の月は旧暦で 2 月(今の暦では 3 月~4 月ごろ)に当てはめられているそうです。)

「一年の計は元旦にあり。」と申しますが、元旦になにもしなかつた人もまだまだ遅くはありません。『兎を見て犬を放つ』も遅くはありません。

神田会の諸兄諸姉の皆さま、卯の年、卯の月に渋谷「讃岐うどん高松」に集い、『兎の罫に狐がかかるとく』ごとく運氣・精気上昇の恩恵をうけようではありませんか。

この餠餅白味噌雑煮の会は不思議なもので、東京では手に入れにくいあんころ丸餅が毎年百個近く送られてきます。それも大根、ニンジン、里芋などの野菜付きで。

『株を守りて兎を待』っていた宋の国の守株の百姓には 2 回目の兎はありませんでしたが、われわれは会の日取りを決めると餅が届く。それもこれで 10 回目の餅になろうかというありがたい話です。この笠地蔵のようなお大師サマのようなありがたい存在が H3 年卒の佐治珠実さんのご実家(通称さじっか)であります。

自前でなかなか調達できずにはや 10 年。守株で兎がもう 10 年。「新しいことを切り開く」とかえらそうに言いながらもまったく進歩の無い話ですが、佐治さん(のお父様とお母様)、今年も守株待兎のわれ

われをよろしく願います。

あんころ丸餅が讃岐雑煮の基本でして、餡のない白餅などは讃岐人には『兎角亀毛』、そんなものはありえないといたいところですが、そこは本会古式ゆかしい讃岐文化を他地方の皆さまに啓蒙する会でもあります。ご家族・ご友人などお誘いあわせのうえ奮ってご参加いただき本会の啓蒙活動にご協力をお願いしたいところでもありますので、一応餡なし丸餅もいくつかは用意いたします。下の申込用紙にその旨ご記入いただければと思います。

また、餅の数もある程度リクエストにはお応えいたしますが、そこは上記のとおり佐治さんのご実家に甘えている次第でありますので、いくら佐治さんご実家が餡餅は『登り坂の兎』といってももちろん数には限りがございます。開始後おそらく30分後くらいから順次雑煮をお出ししてまいります。あまり遅れてこられると売り切れの事態もおこるかもしれません。(何年か前に餡餅が食べられなかったという人もおられました。申し訳ありませんでした。)

『兎の昼寝』はほどほどになるべく早い時間においでになり、『脱兎の如く』餡ころ丸餅白味噌雑煮をゲットしていただきたいものです。

今年も会場はいつものように渋谷の「讃岐うどん高松」ですが、悲しいお知らせがあります。

毎年あたたかく本会を見守っていただき、また、朗らかにまたにこやかにお迎えいただいていた高松のご主人が、昨年お亡くなりになりました。

今年の開催はどうしようかと思っておりましたが、女将さん(藤本さん:S37卒)が「是非とも続けたい」とのありがたいお気持ちである旨を岡崎先輩からお聞きいたしましたので、今年も開催できることと相成りました。

皆様是非とも大勢でお集まりいただき、特にこの会の常連の方には是非とも女将さんを励ましにおいで下さい。亡くなられたご主人は明るい朗らかな方でしたので今頃は天国ならぬ月の世界で『月兎』といっしょに餅をついているかもしれません。また踊りのお好きな方でしたので天女とタンゴダンスを踊っているかもしれません。(兎と兎のダンスかもしれません。)

そんなことで、明るく朗らかだったご主人をしのびながら、女将を励ましつつ、しかし宴が始まってしまえば、直ぐに会の趣旨も忘れて、いつもの賑やかな讃岐弁と賑やかな笑い声が飛び交うであろう

恒例の餡ころ餅雑煮の新年の宴を 下記のとおりご案内申し上げます。

皆様是非ともご家族、ご友人等お誘い合わせの上、ご参加下さい。

記

開催日時 : 2月12日(土)

13:03ごろから(いつものとおり時間厳守ではありません)

場所 : さぬきうどん「高松」

渋谷区渋谷3-7-7 (渋谷警察署裏の方)

Tel 03-3406-0865

高高神田会餡ころ餅雑煮新年会

世話役一同

……………出欠の返信用紙（2011. 2. 12 第39回神田会）……………

ご面倒ながら、讃岐雑煮の会の出欠のご返事を戴ければ幸甚です。

fax 送信 03-5296-7678 岡崎宛

参加

参加人数

餅希望 種類（ 餡入り、餡ナシ ）

欠席

卒業年度

氏名